

# しどういん

発行  
厚木市青少年指導員  
連絡協議会  
編集 広報部会  
厚木市中町1-1-3  
TEL 225-2580

今年も盛況に終わった少年少女フェスティバル。私たちの地区は恒例の「紙ブーメラン」を作りました。

来年は更なる進化をとげるであろう空気砲に、ぜひご期待ください。

厚木南地区は例年同様、今年も空気砲を作りました。「空気砲二〇一七」と題し、毎年進化しています。材料となるペットボトルやトレットペーパーの芯は、学校やコンビニなどにも協力いただき集めました。

いざ子どもたちと空気砲を作り始めてみると、大人の私のほうがはまってしまったり、楽しい作業でした。空気砲本体には、子どもたちがそれぞれ工夫してマスキングテープ等で装飾していき、ハート型の発砲スチロールを詰めて、的に向けて発射。今年は器用なメンバーがストラックアウト風の4つ製作しました。みんな夢中になって楽しんでいました。

厚木南地区 濱上隆志

厚木北地区では昨年に続き紙パック工作を行いました。今回は飛び出す絵とコマの2種類を完成しました。

飛び出す絵は、まず紐を引っ張ると出てくる部分に思い思いの絵を描き、シールなどを貼り、外枠と合わせて完成させます。合わせが中々うまくいかず苦戦している子どももいました。出来上がる笑顔になりました。父さんやお母さんに何度も見せたりしていました。

コマの方も紙パック部分に絵

今年も盛況に終わった少年少女フェスティバル。私たちの地区は恒例の「紙ブーメラン」を作りました。

来年は更なる進化をとげるであろう空気砲に、ぜひご期待ください。

厚木南地区は例年同様、今年も空気砲を作りました。「空気砲二〇一七」と題し、毎年進化しています。材料となるペットボトルやトレットペーパーの芯は、学校やコンビニなどにも協力いただき集めました。

いざ子どもたちと空気砲を作り始めてみると、大人の私のほうがはまってしまったり、楽しい作業でした。空気砲本体には、子どもたちがそれぞれ工夫してマスキングテープ等で装飾していき、ハート型の発砲スチロールを詰めて、的に向けて発射。今年は器用なメンバーがストラックアウト風の4つ製作しました。みんな夢中になって楽しんでいました。

厚木南地区 濱上隆志

厚木北地区では昨年に続き紙パック工作を行いました。今回は飛び出す絵とコマの2種類を完成しました。

飛び出す絵は、まず紐を引っ張ると出てくる部分に思い思いの絵を描き、シールなどを貼り、外枠と合わせて完成させます。合わせが中々うまくいかず苦戦している子どももいました。出来上がる笑顔になりました。父さんやお母さんに何度も見せたりしていました。

コマの方も紙パック部分に絵

今年も盛況に終わった少年少女フェスティバル。私たちの地区は恒例の「紙ブーメラン」を作りました。

来年は更なる進化をとげるであろう空気砲に、ぜひご期待ください。

厚木南地区は例年同様、今年も空気砲を作りました。「空気砲二〇一七」と題し、毎年進化しています。材料となるペットボトルやトレットペーパーの芯は、学校やコンビニなどにも協力いただき集めました。

いざ子どもたちと空気砲を作り始めてみると、大人の私のほうがはまってしまったり、楽しい作業でした。空気砲本体には、子どもたちがそれぞれ工夫してマスキングテープ等で装飾していき、ハート型の発砲スチロールを詰めて、的に向けて発射。今年は器用なメンバーがストラックアウト風の4つ製作しました。みんな夢中になって楽しんでいました。

厚木南地区 濱上隆志

厚木北地区では昨年に続き紙パック工作を行いました。今回は飛び出す絵とコマの2種類を完成しました。

飛び出す絵は、まず紐を引っ張ると出てくる部分に思い思いの絵を描き、シールなどを貼り、外枠と合わせて完成させます。合わせが中々うまくいかず苦戦している子どももいました。出来上がる笑顔になりました。父さんやお母さんに何度も見せたりしていました。

コマの方も紙パック部分に絵

## 野外指導者講習会を振り返って

体育部会長 三橋正巳

今年の講習会は、子ども群れ遊びや体験学習等のプログラムを研修議題とし、午前の部は新しいゲーム形式のスポーツ、昼の部は山ご飯を昼食とし、午後の部は自然の中から学ぶという3部構成で実施しました。

### ニユースポーツ体験

クップ(KUBB)

誰でもどこでも、低学年の子どもから高齢者まで幅広くできるスウェーデン生まれのウッドスポーツ。薪を使い6人1組で2組に分かれ、並べた薪に木の棒を投げて倒し競います。思った所に棒を投げるのがなかなか難しく苦戦しましたが、だんだんコツを掴み、倒せなかつた時の悔しい思いはありました。が、みんなで和気あいあい楽しくできました。

### ワンコッヘルクッキング体験

(山)飯)

最初にバーナーの取り扱い方法を習い、直ぐに調理に取り掛かりました。キャベツを細かく手でちぎってコッヘルに入れ、シーフードミックス、トマトソース、パスタを投入、水を足してバーナーに着火すると2〜3分ででき上がり。パゲットといっしょに食べ、意外と簡単



さあこれから始めるぞ!

### 自然体験プログラム

「五感」を使って自然を感じ親しむ活動として、5つのアクティビティからなる「自然体験プログラム」では、普段は見向きもしない落ち葉などを見たり触ったり、それを使った色合わせなどのゲームや、葉っぱを組合せて作るフォトフレーム観賞会などを体験しました。楽しく「自然」体験することで、専門的知識の伝承ではない、自然を「親しむ」「知る」「守る」という新しい教育の考え方を学びました。今後の青少年育成活動に役立てたいと思います。

## 感動を伝えたい

厚木市ジュニアリーダーズクラブ連絡協議会会長 川井 勇美

元気がいっぱい約160人の、たくさんのプログラムの無事な進行、子ども会や地域の事に達成することができ、少し成長した自分を実感することができました。ジュニアリーダーズクラブは入会当初は大勢の前で話した同じ志を持った仲間と、地域や緊張の連続でしたが、先輩たちから気さくに話しかけてもらったり、アドバイスももらったりしたおかげで、今では率先と活動を通じて多くの人に楽しんでもらえるようになりました。メンバー70人の北海道会長達に負けぬようジュニアネットの訪問では地元の子もリーダーズクラブを盛り上げて

ジュニアリーダーズクラブは入会当初は大勢の前で話した同じ志を持った仲間と、地域や緊張の連続でしたが、先輩たちから気さくに話しかけてもらったり、アドバイスももらったりしたおかげで、今では率先と活動を通じて多くの人に楽しんでもらえるようになりました。メンバー70人の北海道会長達に負けぬようジュニアネットの訪問では地元の子もリーダーズクラブを盛り上げて

入会当初は大勢の前で話した同じ志を持った仲間と、地域や緊張の連続でしたが、先輩たちから気さくに話しかけてもらったり、アドバイスももらったりしたおかげで、今では率先と活動を通じて多くの人に楽しんでもらえるようになりました。メンバー70人の北海道会長達に負けぬようジュニアネットの訪問では地元の子もリーダーズクラブを盛り上げて

### ジュニアリーダー養成

研修会について

・あつぎっ子のために・

団体育成部会長 菅野昭男  
ジュニアリーダーが、子ども会や地域のあらゆる団体からの要請を受け、その要請に応じていくためにはそれなりの知識と技量が必要になります。ジュニアリーダーの中には、初めてなった人や経験豊富な人がいます。ジュニアリーダーの誰もが要請に応じていくためには知識と技量の向上を図っていかなくてはなりません。

研修会には、初級養成研修会、中級養成研修会と上級養成研修会があります。初級養成研



<上級研修会の模様>  
地区へ戻って頑張るぞ

研修会では、ジュニアリーダーとしての知識と技術を習得し、子ども会などの地域活動において主体的に参画できる初級リーダーを養成します。中級養成研修会では、ジュニアリーダーとしての知識や技術を活用し、地域活動について中核となって参画および活動できる中級リー

ダーを養成します。上級養成研修会は、各中学校区の活動を活発に展開するため、次年度の会長及び副会長対象者に必要な知識と技術を習得し中心となってリードできる上級リーダーを養成します。

### 編集後記

「変な夏」と言うのがこの夏の印象でしょうか。曇天・雨天の日が多く、全国各地で豪雨も多かった夏でした。そのような夏、厚木の子どもたち・青少年指導員の皆さんはどんなふうにお過ごしでしょうか。お祭り、盆踊り、キャンプ等々、子どもたちとの関わりも多かったと思います。

「子は宝」、「老いては子に従え」、「子はかすがい」など子どもの偉大さを背に、次世代を担う輝く子どもたちとジュニアリーダーたちの活動の様子、青少年指導員の取り組みをお伝えしました。少年少女フェスティバルでは、各地区の工夫を凝らした出し物に子も親も目を輝かせ、心躍らせていたのが印象的でした。青少年指導員たちの切磋琢磨して活動している様子もお伝えできたかと思えます。(厚木北・N)

## 少年少女フェスティバルを振り返って

### 私の地区の自慢話

#### 進化する空気砲

厚木南地区 濱上隆志

厚木南地区は例年同様、今年も空気砲を作りました。「空気砲二〇一七」と題し、毎年進化しています。材料となるペットボトルやトレットペーパーの芯は、学校やコンビニなどにも協力いただき集めました。いざ子どもたちと空気砲を作り始めてみると、大人の私のほうがはまってしまったり、楽しい作業でした。空気砲本体には、子どもたちがそれぞれ工夫してマスキングテープ等で装飾していき、ハート型の発砲スチロールを詰めて、的に向けて発射。今年は器用なメンバーがストラックアウト風の4つ製作しました。みんな夢中になって楽しんでいました。

厚紙を切り抜き思い思いの模様を描きます。切り抜くのが難しい子どもたちには、模様を描く所からのコースも用意してあり、小さい子どもたちでも参加できます。

#### 紙パック工作

厚木北地区 志澤光則

厚木北地区では昨年に続き紙パック工作を行いました。今回は飛び出す絵とコマの2種類を完成しました。

飛び出す絵は、まず紐を引っ張ると出てくる部分に思い思いの絵を描き、シールなどを貼り、外枠と合わせて完成させます。合わせが中々うまくいかず苦戦している子どももいました。出来上がる笑顔になりました。父さんやお母さんに何度も見せたりしていました。

#### 弧を描く、紙ブーメラン

依知北地区 伊澤孝典

今年も盛況に終わった少年少女フェスティバル。私たちの地区は恒例の「紙ブーメラン」を作りました。

上手くキレイに廻るコマもあれば、あまり廻らず止まってしまいか度も修正する子どももいました。今年の厚木北地区にジュニアリーダーも10人近く入りましたので、イベントなど一致団結して益々盛り上げて行きま



全員集合!

### 多くの「遊び道具」作りの体験を

厚木市青少年指導員連絡協議会会長 勝木 陽一

各地区の工夫をこらした「遊び道具」作り体験の場です。家でゲームをして過ごす子どもが多くなが、自分で「遊び道具」を作り、体を使って遊ぶ体験は貴重なものです。身近にあるものを材料にしているのが、これらをヒントに自分・親子でオリジナルの「遊び道具」作りに挑戦してもらえれば幸いです。

子どもたちを見て感じたことは、作ってもらうのではなく、自分で作りたいのです。これは、多くの「遊び道具」作りを体験してもらったための提案です。少年少女フェスティバルだけでなく、他地区行事に参加す

各種行事にご協力いただいている青少年関係諸団体及び行政の方々には深く御礼を申し上げます。今後ともよろしくお願ひ致します。

# 少年少女フェスティバルを振り返って 私の地区の自慢話

## 子どもたちとともに

**相川地区 内田広美**  
 青少年指導員として今回2度目の少年少女フェスティバルに参加しました。  
 相川地区は日頃あまり使わない工具を使つての水鉄砲作りです。慣れない手つきで取り組む様子を見てみると、あきらめずに最後まで真剣に作業をしていました。何度もやり直して出来上がった時の笑顔が今でも浮かんできます。これから子どもたちのため、地域の活動に参加して行きたいと思います。



むずかしいなあ

## 上手に削れたね

**森の里地区 徳田勝彦**  
 森の里地区は、竹をナイフで削って作る「スーパー竹」と

「んぼ」を行いました。最近では日常生活であまり使用しなくなったナイフに子どもたちも興味津々です。ただ、ナイフの持ち方、ケガをしない削り方を知らない子どもたちがほとんどで、ジュニアリーダーと一緒に使って使い方を教えます。子どもたちは、一度要領をつかむと思つたより上手に削り始め、付き添いでドキドキされていた保護者の方もビックリされます。おそらく子どもの潜在能力に驚かされているのではないかと思います。この活動を通して、なんでも危ないというだけで排除をせず、正しい使用方法を教えて体験をさせることも、子どもたちの成長には大切なことであると感ずるようになりました。

## 翔べ！プラトンボ

玉川地区 越智智子

プラトンボの作り方はとても簡単です。2ミリ程度のプラスチック板に型をのせて枠を描き切り取ります。真ん中に穴を開け、竹串をさし、プロペラを左右にちよつとねじるように曲げれば出来上がりです。どうですか？簡単でしょう！皆楽しそうにプロペラに絵を描いたり、シ



翔ぶかな？

## 押花しおり

南毛利南地区 久保勝寿

南毛利南地区の出し物は「しおり作り」、昨年度から始めたのですが好評でしたので継続することにしました。昨年度よりもブースが広くなったので、押花やシールも多く準備して楽しん

ツクで色とりどりの好きな絵を描き、糸を付ければ完成です。ジュニアリーダーも初めての経験だったので、どうやった方が教えやすいか試行錯誤して子どもたちを迎えます。ジュニアリーダーの手ほどきもあり、凧が完成すると大急ぎで靴を履いて飛ばしに行きます。小さい子どもに兄弟で教えている姿を見ると将来のジュニアリーダーを見ていようという微笑ましい気持ちになるイベントでした。

## のぼるあゆこちゃん

南毛利地区 安部栄

南毛利地区では青少年指導員12人、ジュニアリーダー7人の協力で、のぼるあゆこちゃんを来場された親子に作る楽しみや動かして喜ぶことを体験してもらいました。

真剣な顔で子どもが作り上げた作品を動かしてみると「動かない」ので、つまらない顔を見せませんが、アドバイスをもらい動き出すと笑顔になります。そして家でやるうねと約束をする微笑ましい姿をみて心から喜びを感じました。

のぼるあゆこちゃんもデビューから早6年、鈴を付けたり工夫を凝らしてきましたが、地区会では新作の話も出始め、メンバー一同アイデアを出しあい新作に期待が持てます。



もうすぐできあがり

**笑顔の瞬間**  
**小貼地区 霜島百合子**  
 「ヤッター 回った回った、パパ・ママ見て見て」自作したゴリゴリプロペラを竹の棒で擦りながら大喜びの子ども。その作り方を熱心に教えていたジュニアリーダーが笑顔で拍手をして褒めている。こんな場面があちらこちらで見受けられた時、私たち青少年指導員が一番やり甲斐を感じます。  
 小貼地区恒例のゴリゴリプロペラは、割り箸にカラフルなテープと細いワイヤーを巻き付けた先端に3〜4cm位の厚紙のプロペラを釘で取り付けます。このワイヤー部分を竹の棒で前後にゴリゴリと擦ると振動でプロペラが回り出す仕組みのクラフトです。



回るかざぐるま作り

## 自分だけのかざぐるま

睦合北地区 岡本公明

睦合北地区では、ジュニアリーダーとともにかざぐるまを作りました。  
 子どもたちは展示されたかざぐるまに興味津々で「わあ〜！すごい！」と嬉しそうに駆け寄ってきてはしゃいでいました。目を輝かせた少年少女が続々と

## たこたこ上げ

緑ヶ丘地区 竹内隆志

毎年来てくれる子どももいるので、例年のジェット機作りから室内でもよく飛び小さい子どもでも簡単に作れる凧作りに変えました。材料は紙と割りばしとストローで、はさみで紙を切りテープで組み立てます。マジ

ールを貼ったりして、素敵なプラトンボを作っていました。でも！私たちの自慢は誰でも簡単に作れるプラトンボだけではないのです。ジュニアリーダー以外にも卒業した先輩たちや、引退した青少年指導員がお手伝いに来てくれる何と頼もしいことでしょうか。みんなが協力してくれるから、アットホームな雰囲気の中で子どもたちが楽しく作り、遊べるのだと思えます。そう、私たちの一番の自慢はみんなの絆が強いところですよ！

でもらうことにしました。人気だったのは押花をあしらったしおりです。自作の絵と押花を組み合わせたしおり、シールと押花を組み合わせたしおり、個性豊かなしおりができてあがりました。子どもたちの創造性にはいつも驚かされます。  
 このように世界にただ一つのしおりを作ってもらうことができたことが当地区の自慢です。

## わぁー綺麗！

依知南地区 菅野和利

青少年指導員として初めて少年少女フェスティバルに参加しました。私たちの地区は万華鏡を子どもたちと作りました。  
 楽しく子どもたちのペースで時間も気にすることなく、作製完成に近づくと子どもたちのテンションも上がります。最後



わぁーキレイ！

## かっこいい

輪ゴム鉄砲づくり

荻野地区 田中満

荻野地区の工作は、例年通り輪ゴム鉄砲です。およそ2本の割りばしを使い、ハサミやカッターで割りばしを切断し、輪ゴムを使って割りばしどうしをつなげます。完成すると、かっこいい輪ゴム鉄砲の出来上がりです。子どもたちは、なかなかうまくできず苦戦していました。そこはジュニアリーダーたちがサポートしてくれました。さて、輪ゴム鉄砲が出来上がると早速試射会です。子どもたちは、紙コップの底を並べて1メートルほどの距離からターゲットを狙います。「人に向けて打つちゃダメだよ！」と声をかけると、子どもたちは素直に言うことを聞いてくれました。

今年も広報部の担当として、アミューアツギの入口付近でチラシ配りを担当しました。1時間程度ですが、子ども連れのご家族に声をかけ、「無料でたくさん工作できますよ」とお誘いしました。この日は室内で工作するよりも外で遊んだ方が気持ちのよい天気でしたので、太陽がちよつと恨めしく思いました。



あゆこ回